

2024 年 6 月 12 日

報道関係各位

株式会社 O K B 総研

「O K B 景況指数」2024 年 6 月期調査報告

O K B グループのシンクタンク（株）O K B 総研（大垣市郭町 2-25 社長 青木 義実）は、3 ヶ月ごとに「O K B 景況指数」を公表しております。このたび、2024 年 6 月期調査報告を取りまとめましたのでご案内します。

調査結果要旨

景気の水準	景気全般は▲1.1（前回比▲6.0）と 4 期ぶりのマイナス圏。物価高により個人消費の低迷が続く。生産活動は自動車の認証不正やリコールによる生産調整の影響が残る。
景気の方角	3 ヶ月後の景気は良化を予想。生産活動および設備投資が増加の見通し。一方、個人消費および企業収益は減少を見込む。
追加調査	地域経済への円安の影響は『マイナスの影響』が 7 割超。一方、『プラスの影響』は 14.2%にとどまった。 プラスの影響が大きい業種は「輸送用機械器具製造業」「旅館ホテル」「観光施設」。 マイナスの影響が大きい業種は「食料品製造業」「小売業」「卸売業」。

O K B 景況指数 とは・・・

O K B 大垣共立銀行の支店長を対象に 3 ヶ月ごとに調査を実施
東海 3 県にある O K B 大垣共立銀行の支店長を調査対象 としている点が大きな特徴。銀行の支店長は、地域の企業活動や個人の景況感を総合的に捉えている。幅広い視点から地域の景況感を把握するには、銀行支店長への調査は有効な方法となる。
県域より狭い地域の景気の水準と方向を集計
「名古屋」、「西尾張」、「西濃」など、 県域より狭い地域の景気水準を表す指標 を公表している。 (注) 東海 3 県の当該県域全体を対象としない(O K B 大垣共立銀行の支店所在地エリアが対象)。

資料配布場所：名古屋証券取引所・金融記者クラブ、大垣市政経済記者クラブ

【本件に関する問合せ先：O K B 総研 調査部 中澤・梅木 TEL: 0584-74-2615 FAX:0584-74-2688】

OKB景況指数（2024年6月期調査報告）

調査概要

- (1) 調査対象 東海3県にあるOKB大垣共立銀行の支店長および法人営業部担当者（117名）
- (2) 調査内容 調査時点の景気水準および3ヵ月後の景気の方
- (3) 調査方法 2024年5月上旬に調査票を配付し、5月下旬までに回収

調査結果

景気的水準： 景気全般は▲1.1（前回比▲6.0）と4期ぶりのマイナス圏。物価高により個人消費の低迷が続く。生産活動は自動車の認証不正やリコールによる生産調整の影響が残る。

景気の方： 3ヵ月後の景気は良化を予想。生産活動および設備投資が増加の見通し。一方、個人消費および企業収益は減少を見込む。

	景気的水準(2024年6月期)	景気の方(3ヵ月後見通し)
全地域	・景気全般は▲1.1（前回比▲6.0）と、4期ぶりにマイナス圏。	・+5.7と「良化」超
	(支店長コメント) 自動車部品製造関連は不正問題による生産調整を強いられており低調。食品、日用品は値上げが相次いでおり節約志向がより強まっている。円安、原材料価格高騰、労務費高騰により企業収益が圧迫されており、赤字転落する企業が増加傾向。	
県別	・愛知県は7.5（前回比+0.7）と前回から横ばい。岐阜県は▲6.9（同▲10.6）と前回から低下しマイナス圏に。	・愛知県は+8.2と「良化」超 ・岐阜県は+4.3と「良化」超
	(支店長コメント) ・愛知県では、円安を背景として自動車関連企業が堅調。今後については中国市場の減速リスクや自動車メーカーの認証不正などの一過性要因や日銀の為替介入リスクもあり、慎重な見通しとなっている。個人消費は住宅建築のニーズが低迷している。 ・岐阜県では、製造業全般では横ばいの感が強い。アパレル関連は売上回復基調にあるも、円安や原材料高の影響が大きく利益面は厳しい。観光関連は観光客の増加により順調推移。	
地域別	・名古屋、三河、飛騨・郡上が前回から上昇。	・「良化」超 名古屋、東尾張、三河、西濃、飛騨・郡上 ・「悪化」超 西尾張、岐阜
	(支店長コメント) 【三河地域】 大手自動車メーカーの各種不正問題による生産停止は解消傾向にあり、生産活動は増加が予想される。一方で停止期間中の挽回による増産等の動きはなく、不正を再発させないよう緩やかな受注回復にとどまっている。 【岐阜地域】 円安の好影響を受けている業種は自動車関連の輸出企業、インバウンド等の国内観光業に限定されており、全般的にはコスト上昇による悪影響を吸収しきれていない企業が多い。先行き不透明感から不要不急の設備投資を遅らせる動きあり。	
項目別	・「全地域」を項目別に見ると、「生産活動」は2.3（前回比+3.2）と前回から持ち直し。「企業収益」は▲2.0（同+4.0）と5期連続で上昇。「個人消費」は▲5.7（同▲0.6）と3期連続でマイナス圏。	・「増加」超 「生産活動」、「設備投資」、「資金需要」 ・「減少」超 「個人消費」、「企業収益」 ・「不足」超 「雇用」
	(支店長コメント) 「個人消費」：食品関連など価格高騰による買い控え傾向が見られる。住宅やリフォームにおいても価格高騰の影響を受けて控える動きがあり、受注低迷。代わりに投資に関心が向いている感があり、NISAやiDeCoの問い合わせ件数が増えている。 「生産活動」：自動車関連はメーカーの認証不正やリコールによる生産停止により、生産量が減少。受注減など弱い動きが続いている。一方、今後の生産活動について大手自動車メーカーから前向きな数字が示されており、期待している企業が見られる。 「設備投資」：円安等により単価が上がっており、製造業の大型の設備投資は手控えられている様子。一方、円安を追い風に過去最高益を出している機械メーカーは大規模な国内工場設備を建設中。レジャー産業では円安による海外旅行の手控えから国内旅行客が増加しており、宿泊施設の増強、レジャー施設への投資が見られる。 「企業収益」：一時期に比べて原料高等コスト分を売価に転嫁できる企業が増加している。一方、中小・零細企業は原材料・燃料費・人件費高騰等によって収益が圧迫されている。輸入産業は円安環境下で大幅な利益減を余儀なくされている。 「雇用」：求人の売り手市場の状況に変化なし。大企業の大規模な賃上げに対し、中小企業は現状維持または若干の賃上げに留まっており、社員の定着率は低下傾向。外国人登用は近時の内外価格差の縮小や円安の影響で確保困難。	

*（支店長コメント）は、該当エリア・項目の調査結果（水準・方向）と関連したコメントを掲載しています。

■指数および算出方法について

①「景気の水準」・・・調査時点における地域の景気の「水準」を示す指数。

②「景気の方角」・・・景気の「水準」に対して、景気の「方向」を示す指数。

各指数は、最高点が100、最低点が▲100となる。①「景気の水準」を表す「景気全般」の場合、右記の表の通り、各項目の回答にポイントを付与。支店の規模によるウエイト調整を行った上で、地域毎のポイント合計を当該地域の全支店長が「良い」と回答した場合のポイント合計で割り、100を乗じて算出する。

地域の景気水準を表す「景気全般」の場合

現在の景気に対して	付与ポイント
良い	2ポイント
どちらかといえば良い	1ポイント
良くも悪くもない	0ポイント
どちらかといえば悪い	▲1ポイント
悪い	▲2ポイント

図表1 OKB景況指数「景気の水準」(2024年6月期)

地域名	景気全般	個人消費	生産活動	設備投資	企業収益	資金需要	雇用
	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)
名古屋	15.8 (+7.9) ↗	▲2.6 (+2.6) ↗	7.9 (+5.3) ↗	21.1 (+7.9) ↗	7.9 (0.0) ⇐	23.7 (+15.8) ↗	68.4 (+5.3) ↗
東尾張	9.3 (▲1.9) ⇐	▲5.6 (▲11.1) ⇐	14.8 (+7.4) ↗	14.8 (0.0) ⇐	13.0 (+11.1) ↗	▲5.6 (▲11.1) ⇐	66.7 (▲1.9) ⇐
西尾張	▲6.3 (▲9.4) ⇐	3.1 (+9.4) ↗	6.3 (▲3.1) ⇐	▲15.6 (▲21.9) ⇐	▲9.4 (▲18.8) ⇐	▲15.6 (▲25.0) ⇐	62.5 (▲3.1) ⇐
三河	9.1 (+9.1) ↗	▲13.6 (0.0) ⇐	9.1 (+9.1) ↗	▲9.1 (▲9.1) ⇐	9.1 (+9.1) ↗	9.1 (+9.1) ↗	77.3 (+9.1) ↗
岐阜	▲6.3 (▲15.8) ⇐	2.5 (+4.9) ↗	8.8 (+11.1) ↗	▲6.3 (▲9.8) ⇐	▲8.8 (+3.2) ↗	▲10.0 (+4.6) ↗	66.3 (+5.5) ↗
西濃	▲6.9 (▲13.8) ⇐	▲15.5 (▲6.9) ⇐	▲6.9 (▲5.2) ⇐	3.4 (+1.7) ↗	▲5.2 (+8.6) ↗	▲15.5 (▲8.6) ⇐	77.6 (+1.7) ↗
東濃・可茂	▲17.5 (▲7.5) ⇐	▲7.5 (+2.5) ↗	▲20.0 (▲12.5) ⇐	7.5 (+12.5) ↗	▲10.0 (+2.5) ↗	▲10.0 (▲7.5) ⇐	65.0 (▲5.0) ⇐
飛騨・郡上	30.0 (+40.0) ↗	▲20.0 (▲10.0) ⇐	0.0 (+30.0) ↗	▲20.0 (+40.0) ↗	0.0 (+10.0) ↗	▲30.0 (+30.0) ↗	90.0 (0.0) ⇐
桑名・四日市	▲14.3 (▲14.3) ⇐	▲14.3 (0.0) ⇐	▲14.3 (0.0) ⇐	0.0 (+14.3) ↗	▲14.3 (+14.3) ↗	▲14.3 (▲14.3) ⇐	50.0 (+14.3) ↗
愛知県(4地域)	7.5 (+0.7) ↗	▲4.1 (▲1.4) ⇐	10.3 (+4.8) ↗	6.2 (▲4.1) ⇐	6.2 (+1.4) ↗	2.1 (▲4.1) ⇐	67.8 (+1.4) ↗
岐阜県(4地域)	▲6.9 (▲10.6) ⇐	▲6.4 (▲0.1) ⇐	▲2.7 (+2.0) ↗	▲1.1 (+1.0) ↗	▲7.4 (+5.1) ↗	▲12.8 (▲0.7) ⇐	70.7 (+2.0) ↗
三重(1地域)	▲14.3 (▲14.3) ⇐	▲14.3 (0.0) ⇐	▲14.3 (0.0) ⇐	0.0 (+14.3) ↗	▲14.3 (+14.3) ↗	▲14.3 (▲14.3) ⇐	50.0 (+14.3) ↗
全地域	▲1.1 (▲6.0) ⇐	▲5.7 (▲0.6) ⇐	2.3 (+3.2) ↗	2.0 (▲0.5) ⇐	▲2.0 (+4.0) ↗	▲6.6 (▲2.6) ⇐	68.7 (+2.2) ↗

(※1) 各項目の「今期水準」は5つの選択肢にそれぞれポイントを付与したうえで算出。

例えば「景気全般」は、「良い」に2ポイント、「どちらかといえば良い」に1ポイント、「良くも悪くもない」に0ポイント、「どちらかといえば悪い」に▲1ポイント、「悪い」に▲2ポイント付与。

各回答に付与したポイント合計を、全回答が「良い」とした場合のポイント合計で除して算出。同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

(※2) () 内の前回比は、前回調査時の各指数からの変化幅を表記。

(※3) 雇用は「不足ー過剰」で算出。プラスは「不足超」、マイナスは「過剰超」を示す。

図表2 OKB景況指数「景気の方角(3ヵ月後見通し)」(2024年9月期見通し)

(単位: %ポイント)

地域名	景気全般	個人消費	生産活動	設備投資	企業収益	資金需要	雇用
	「良化」ー「悪化」	「増加」ー「減少」	「増加」ー「減少」	「増加」ー「減少」	「増加」ー「減少」	「増加」ー「減少」	「不足」ー「過剰」
名古屋	5.3 ↗	15.8 ↗	15.8 ↗	10.5 ↗	15.8 ↗	26.3 ↗	15.8 ↗
東尾張	18.5 ↗	0.0 ⇐	18.5 ↗	▲3.7 ⇐	3.7 ↗	0.0 ⇐	40.7 ↗
西尾張	▲12.5 ⇐	▲18.8 ⇐	0.0 ⇐	▲6.3 ⇐	▲18.8 ⇐	6.3 ↗	0.0 ⇐
三河	18.2 ↗	18.2 ↗	36.4 ↗	36.4 ↗	18.2 ↗	18.2 ↗	54.5 ↗
岐阜	▲2.5 ⇐	▲7.5 ⇐	10.0 ↗	10.0 ↗	▲22.5 ⇐	15.0 ↗	25.0 ↗
西濃	3.4 ↗	▲3.4 ⇐	▲3.4 ⇐	3.4 ↗	▲13.8 ⇐	0.0 ⇐	31.0 ↗
東濃・可茂	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	▲20.0 ⇐	5.0 ↗	5.0 ↗
飛騨・郡上	80.0 ↗	▲40.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	100.0 ↗
桑名・四日市	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	▲14.3 ⇐	0.0 ⇐	42.9 ↗
愛知県(4地域)	8.2 ↗	2.7 ↗	16.4 ↗	5.5 ↗	4.1 ↗	11.0 ↗	27.4 ↗
岐阜県(4地域)	4.3 ↗	▲6.4 ⇐	3.2 ↗	5.3 ↗	▲18.1 ⇐	7.4 ↗	26.6 ↗
三重(1地域)	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	▲14.3 ⇐	0.0 ⇐	42.9 ↗
全地域	5.7 ↗	▲2.3 ⇐	8.6 ↗	5.2 ↗	▲8.6 ⇐	8.6 ↗	27.6 ↗

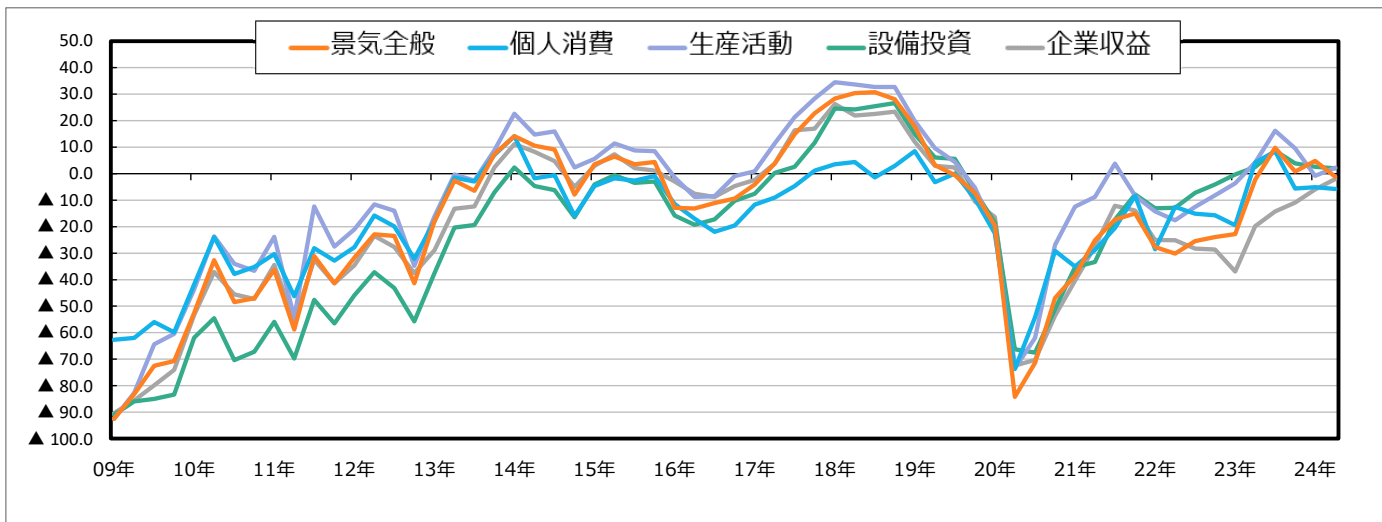
(※) 景気全般は、3ヵ月後には景気が今より「良くなりそう」と回答した割合(%)ー「悪くなりそう」と回答した割合(%)

他の6項目は、3ヵ月後には今より「増えそう(不足しそう)」と回答した割合(%)ー「減りそう(過剰となりそう)」と回答した割合(%)

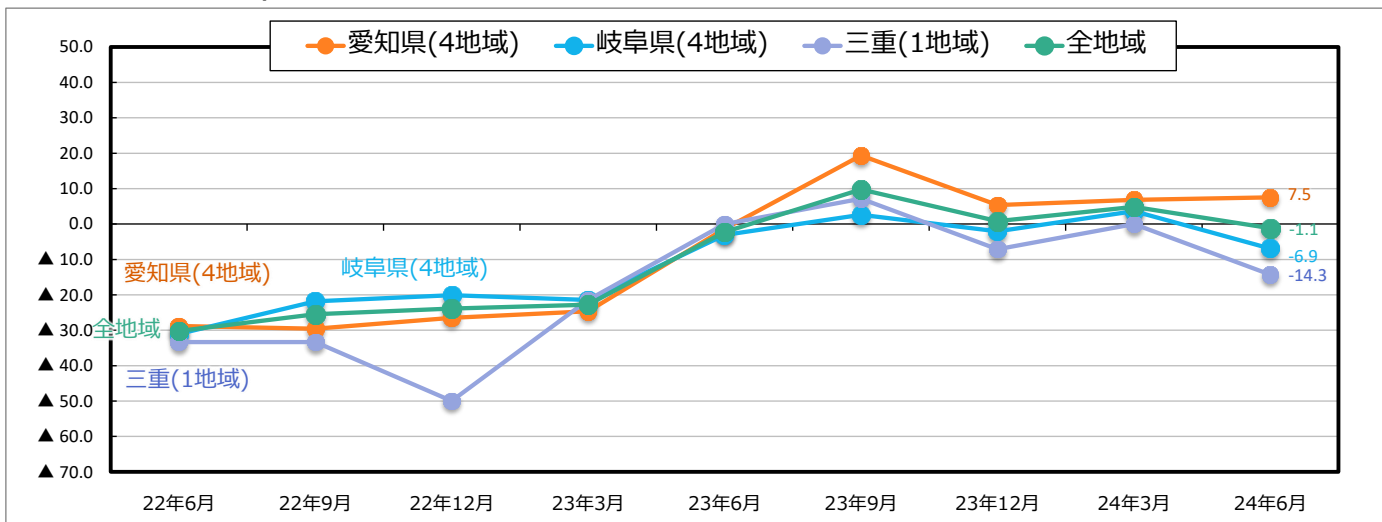
「景気の水準」同様、同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

「景気の水準」の推移

■項目別（資金需要、雇用を除く）

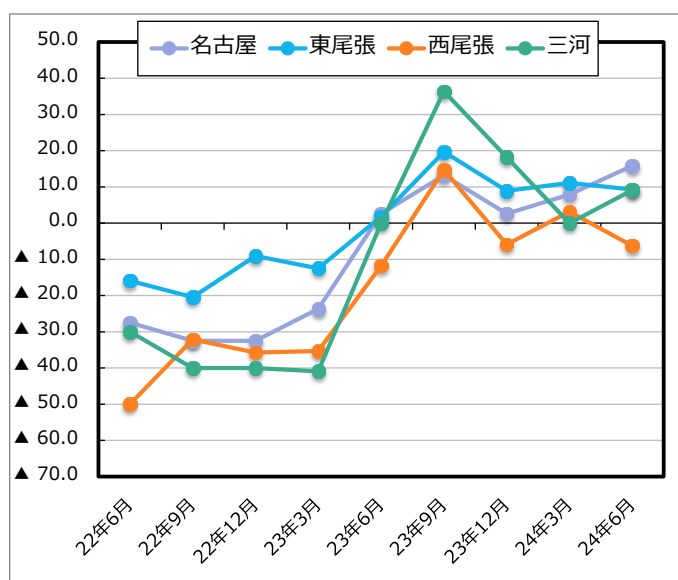


■県別（景気全般）

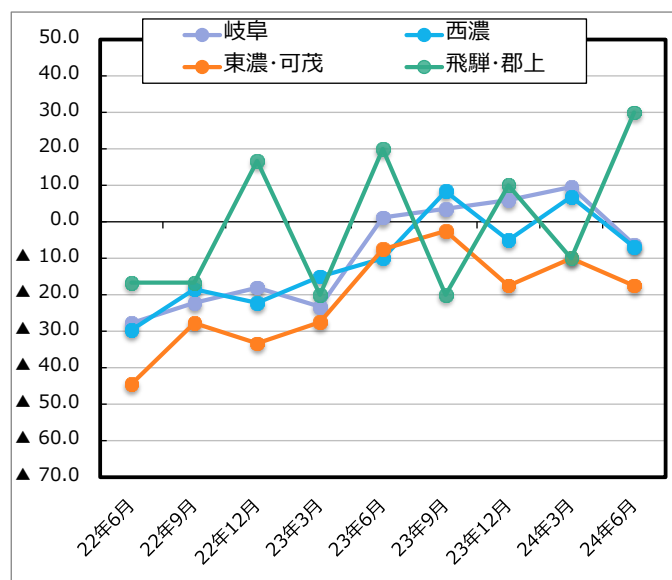


■地域別（景気全般）

①愛知県内



②岐阜県内



追加調査 1

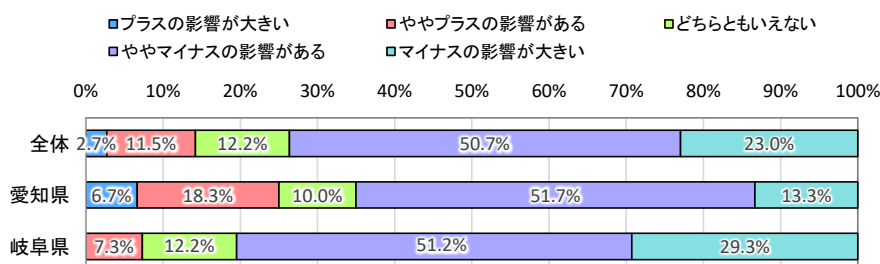
「円安による地域経済への影響」

足元の円安基調が地域経済にとってプラスかマイナスかを尋ねた。

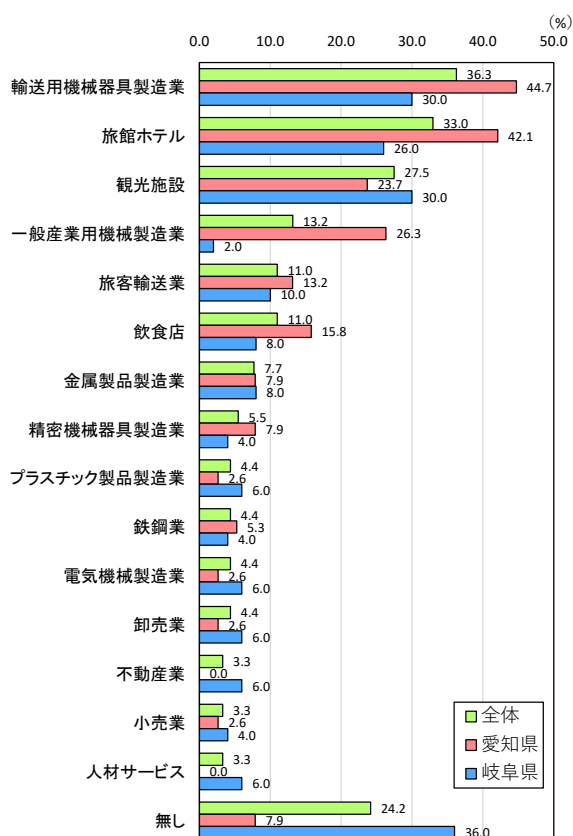
地域経済への円安の影響は、『マイナスの影響』が 7 割超。一方、『プラスの影響』は 14.2%にとどまった。
プラスの影響が大きい業種は、「輸送用機械器具製造業」、「旅館ホテル」、「観光施設」。
マイナスの影響が大きい業種は、「食料品製造業」、「小売業」、「卸売業」。

- ①地域経済への円安の影響について尋ねたところ、「ややマイナスの影響がある」が 50.7%と最も多く、次いで「マイナスの影響が大きい」が 23.0%と続いた。『マイナスの影響』の回答は合わせて 73.7%となった一方、『プラスの影響』との回答は合わせて 14.2%にとどまった。県別に見ると、愛知県では『プラスの影響』が 25.0%となった一方、岐阜県では、同割合が 7.3%にとどまっており、「マイナスの影響が大きい」が 3 割弱となっている。
- ②円安によるプラスの影響が大きい業種を尋ねたところ、「輸送用機械器具製造業」が 36.3%と最も多く、次いで「旅館ホテル」、「観光施設」と続いた。また、「無し」の回答が 24.2%を占めている。一方、マイナスの影響が大きい業種は、「食料品製造業」と「小売業」が 42.9%と最も多く、次いで「卸売業」と続いた。県別に見ると、プラスの影響が大きい業種では、愛知県は岐阜県に比べ、「輸送用機械器具製造業」、「旅館ホテル」、「一般産業用機械器具製造業」の割合が高い。また、マイナスの影響が大きい業種は、岐阜県では愛知県に比べ、製造業全般の割合が高い。

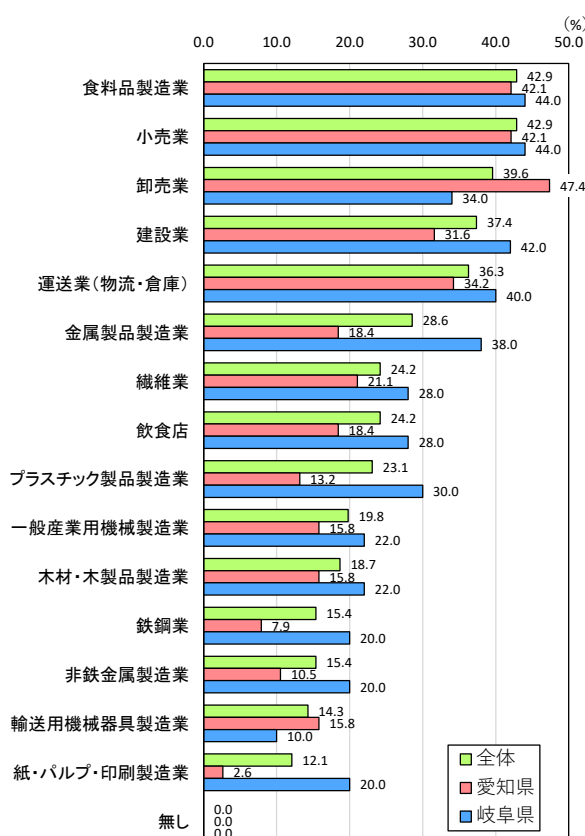
①円安による地域経済への影響



②円安によるプラスの影響が大きい業種（上位 15 業種）



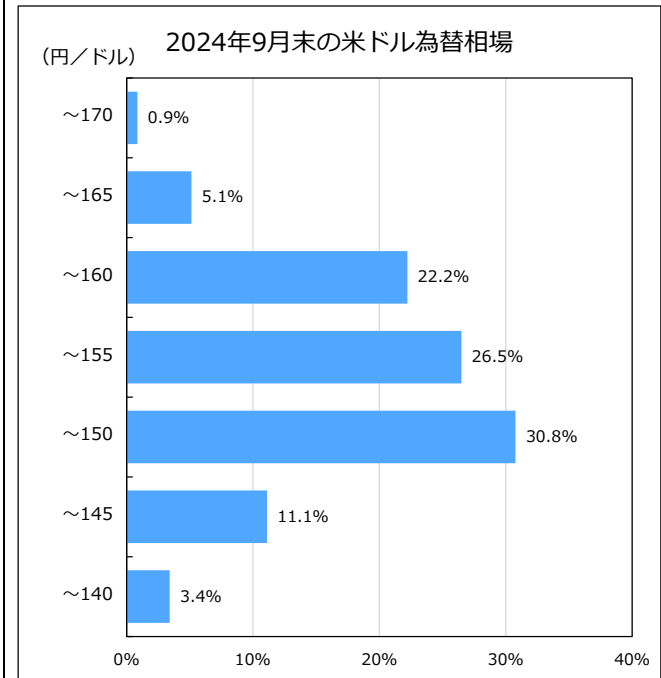
②円安によるマイナスの影響が大きい業種（上位 15 業種）



「2024 年 9 月末の米ドル為替相場・日経平均株価」

2024 年 9 月末の相場予想の平均は、日銀の利上げ、米国の利下げ開始により、日米金利差は縮小、円高方向へ向かうとの見方から、米ドル為替相場は 1 ドル = 152.09 円となった。
日経平均株価の予想平均は 39,016 円だった。

2024 年 9 月末の為替・株式の予想を尋ねたところ、米ドル為替相場の予想平均は 1 ドル = 152.09 円、日経平均株価の予想平均は 39,016 円だった。米ドル為替相場は、日銀の利上げと米国の利下げ開始により、日米金利差は縮小、円高方向へ向かうとの見方から、「145 円超 150 円以下」を予想する声が多い。日経平均株価は、企業業績は堅調であるものの、今後円高方向へ向かうとの予想から、現行水準である「39,000 円超 40,000 円以下」を予想する声が多い。



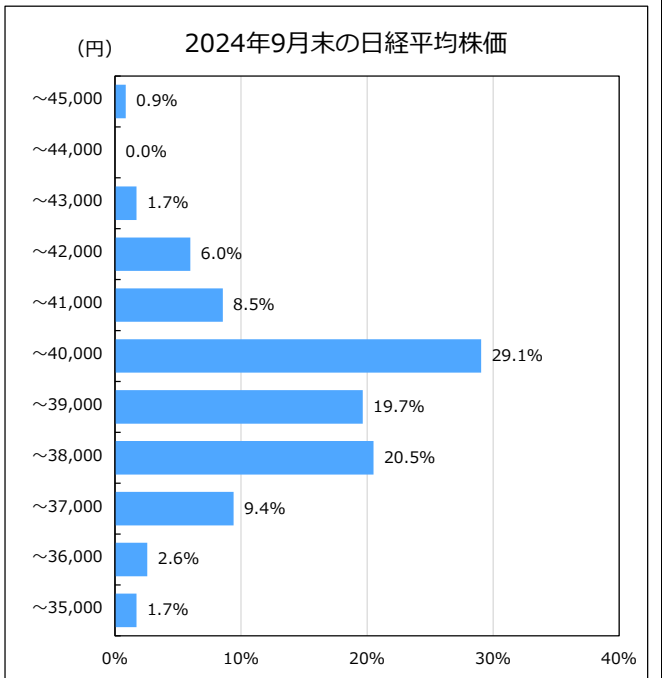
2024 年 9 月末の米ドル為替相場 (円/ドル)

	全体	愛知	岐阜
平均値	152.09	152.62	151.41
最大値	167.67	165.00	167.67
最小値	138.00	145.00	138.00
最頻値	150.00	150.00	145.00
中央値	151.50	151.89	151.00

(ご参考)	
2024年5月相場 (円/ドル)	
月中高値	158.01
月中安値	151.85
月末時点	157.31
出所：Refinitiv	

・予想コメント

円安要因 (一部抜粋)
・ 米国の金利高止まり
・ 日銀の金融政策維持
・ 日米金利差の持続
・ 日米の貿易赤字
円高要因 (一部抜粋)
・ 米国の長期金利の低下
・ 米国の利下げ開始
・ 日銀の利上げ
・ 欧州・主要国の利下げ



2024 年 9 月末の日経平均株価 (円)

	全体	愛知	岐阜
平均値	39,016	38,983	38,978
最大値	45,000	43,000	45,000
最小値	35,000	36,000	35,000
最頻値	40,000	38,000	39,000
中央値	39,000	39,000	39,000

(ご参考)	
2024年5月相場 (円)	
月中高値	39,437.16
月中安値	37,617.00
月末時点	38,487.90
出所：Refinitiv	

・予想コメント

上昇要因 (一部抜粋)
・ 円安を背景とした日本企業の堅調な企業業績
・ 金融政策維持
・ 円安を背景とした海外マネーの流入
・ 米国株式の上昇
下落要因 (一部抜粋)
・ 米国景気減速の影響
・ 日銀の金融政策変更、利上げ
・ 円高の進行